



HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE

Race SUPER GT Rd.3 SUGO GT 300km RACE
 Date 2014.07.19-20
 Race Track SPORTS LAND SUGO
 Team OKINAWA IMP・RUNUP GT-R



SPONSOR



菅生の魔物に翻弄された大荒れのレースを 18 位で完走

梅雨入りした7月、スーパー GT Rd.4 SUGO GT300km RACE が宮城県スポーツランド菅生で開催されました。前回のオートボリス戦はチームのサポートだったので、今回のレースはGWの富士以来、約2ヶ月半ぶりのドライブとなります。また今回はチームオーナー兼 A ドライバーである田中さんのご配慮で藤田選手と私でレースさせて頂ける事となりました。

2014.07.19 FREE PRACTICE (18位 /23台中)

WEATHER : WET

この日は予報通り朝から雨が降りしきり中、公式練習がスタートしました。このマシンで WET タイヤを使用する事が初めてだったので、まずはしっかりとマシンの挙動などを確認しながら徐々にベースをあげていきます。



路面が徐々に乾いて行く方向だったので予選で使用すると予想されるタイヤのフィーリングなどを確認したかったのですが、WET タイヤも数に限りがあるので、違うタイヤで予選を想定しながらマシンのセッティングを行いました。マシンのバランスがある程度確認出来たところで藤田選手に交代し、周回を重ねてもらいます。

最後は雨量が増えて来たのでタイムアップは出来ませんでした。WET セットの方向性が見えて来たところで公式練習が終了となりました。

2014.07.20 QUALIFYING (14位 /23台中)

WEATHER : WET

当初19日の午後から公式予選が行われる予定でしたが濃霧のため中止となり、決勝日の朝から予選が行われる事となりました。そして通常 Q1、Q2 と2回の予選が行われるのですが、今回は25分間の予選1回で全てのグリッドが決まることとなりました。

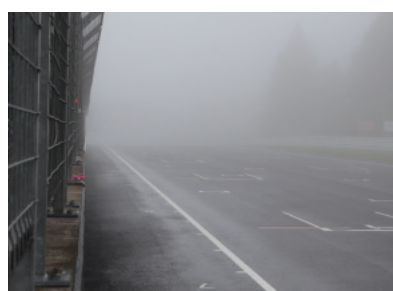


この予選を私がアタックさせてもらうこととなったのですが、まずはレインタイヤの深溝でアタックを開始します。

周回を重ねるごとにタイムは上がっていきのですが、路面の水がどんどん少なくなっていくため深溝のレインタイヤだとトレッドがよれてしまい、思うようにタイムをあげる事が出来ません。

そのため、2、3周アタックしたところで溝の浅いレインタイヤへと交換し、再度アタックを開始します。ここからは路面の走行ライン上だけどんどん乾いていくため、目まぐるしくポジションが入れ替わる状況だったのですが、走行開始直後は中々グリッドをあげる事が出来ずに下位に沈んでいました。

徐々にタイヤが温まってくると残り1週の時点で7番手までポジションをあげる事が出来たのですが、最終ラップにトラブルの出た車両に引っかかってしまいタイムアップ出来ず、14番手までポジションを下げたところで予選終了となってしまいました。





HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE



SPONSOR



2014.07.20 RACE (決勝 18位 / 23台中) WEATHER : WET-DRY

午後に入り路面はまだ濡れていたのですが、スタート時間が近づくにつれ徐々に走行ラインだけ乾いてくる難しい天候となりました。そして全車スリックタイヤを装着し79周の決勝レースがスタートするのですが、フォーメーションラップがスタートした頃からまた雨粒が落ちてきました。

ここで決勝レースがスタートする予定だったのですが、雨量が増えて来た事から1周フォーメーションラップが追加され路面状況を確認します。この時からピットインしレインタイヤへ交換するチームが増え始めたのですが、私たちはステイアウトしスリックタイヤでスタートする事を選択しました。そのためポジションを5つほど上げたところでいよいよ決勝レースがスタートします。

スタート直後は各コーナーで混乱が生じスピンした車両などもあったため、さらに6番手までポジションをあげる事が出来ました。しかし更に雨量が増えて来た事でチームと話した結果、ピットインしレインタイヤへとタイヤ交換することになりました。交換した直後はレインタイヤを選択したマシンがラップタイムも良かったのですが、その頃から雨はやみ徐々にスリックで走行していたマシンがタイムを戻してくることとなります。


私たちは雨が降る事を願いながら走行を続けたのですが、完全にスリックで走行する路面へと変化してしまったため再度ピットインし、スリックタイヤへと交換する事となりました。そこからは少しでも順位を戻すため走行を続けたのですが、走行ライン以外はウェットな路面でオーバーテイクする事が出来ず、さらにはスピンまでしてしまい順位を戻す事が出来なまま、藤田選手へとドライバー交代する事となりました。少しでもピット時間を短縮するためタイヤ交換を行わず、ドライバー交替後も藤田選手がプッシュしてくれたのですが、またしても雨が降り始めます。

ここでウェットタイヤへと交換するチームとスリックで走り続けるチームに選択が分かれたのですが、私たちはレインタイヤを選択しました。この直後もレインタイヤの方がペースが良いコンディションが続いたのですが、スリックでステイしたマシンに追いつく前に路面が乾いてきてしまい、自分たちの思惑通りには走れなまま18位でチェッカーを受ける事となりました。

今回は天候に翻弄されたレースとなりましたが、何より私の足りない部分が全て出たレースとなりました。走行中路面コンディションを確認出来るのはドライバーだけですし、そのときに適切な判断をしなければなりません。

自分のペースが速かったとしても、ラインが一本しか出来ていない状況でのオーバーテイクや500クラスの譲り方、単独のスピンなど課題が山積みです。この課題を与えられたチャンスの中で克服しなければ今後はないと思うので、ひとつずつしっかりと克服、そして成長し、お世話になっている方々に結果で恩返し出来ればと思います。

この後は約1ヶ月の間に鈴鹿テスト、Rd,5富士、Rd,6鈴鹿と連続で続きますので、ここでしっかりとアピール出来るように頑張りたいと思います。それでは引き続きご指導、ご支援よろしくお願い致します。


吉田 広樹

